

2022 年 8 月 29 日第初版

2022 年 8 月 29 日

研究に関するお知らせ

手術室における脊椎手術・脊髄手術時の褥瘡の発生と予防に関する後ろ向き調査研究
～四点支持器を使用した腹臥位手術～

京都府立医科大学附属病院看護部 中央手術部では、四点支持器（写真①）を使用した患者さんに対して、褥瘡（床ずれ）を予防する対策をしてきました。そこで、過去に診療録（電子カルテ）に記載された内容を対象にした褥瘡の発生と予防に関する後ろ向き調査研究を実施しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

■研究の目的：

脊椎・脊髄手術は腹臥位という、うつぶせの状態で行われます。その際、体位固定のために手術台・体位固定具を使用し、胸部と腰部は四点支持器（写真①）を用います。

この固定具によって体位の固定はしっかりと行えますが、局所で体重を支えなくてはならないため皮膚にかかる圧力が高くなり、手術後に褥瘡（床ずれ）が発生しやすいということが問題となっています。

本研究は、診療録（電子カルテ）から情報を得ることにより、四点支持器（写真①）を使用した腹臥位手術における褥瘡が発生しやすい要因を明らかにすることを目的としています。この研究により、今後の腹臥位手術時の褥瘡予防や安楽で安全な手術時の看護ケアを提供することに繋がりたいと考えています。

■研究方法

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2024 年 3 月 31 日

・データ収集期間：2023 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月末



写真① 四点支持器

・対象となる診療録（電子カルテ）

京都府立医科大学附属病院で 2022 年 9 月 1 日～2023 年 1 月 31 日の期間に四点支持器（写真①）を使用し、腹臥位で手術を受けた方の診療録（電子カルテ）の内容

・方法：四点支持器（写真①）を使用し手術を受けられた方の診療録（電子カルテ）より、以下の情報を取得します。その情報をもとに分析・比較し褥瘡発生要因を明らかにします。新たに開始することはありませんので、皆様に負担やリスクが生じることはありません。手術・麻酔時間、基礎データ（カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、BMI）、体温、

血液データ（血清アルブミン、血清総蛋白、血中ヘモグロビン）、皮膚の状態、体圧、皮膚湿度

■個人情報の取扱いについて

診療録（電子カルテ）の情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。その際には、インターネットに接続できないパソコンに保存します。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は京都府立医科大学附属病院・看護部・中央手術部・長谷川佳代責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

■情報の保存について

カルテから抽出した情報や血液や病理組織などの試料は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学附属病院・中央手術部・看護師・長谷川佳代において、研究終了報告日から5年又は研究結果の最終公表日から3年又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保管させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

■研究組織

研究責任者：京都府立医科大学附属病院・中央手術部・看護師長 長谷川佳代

研究担当者：京都府立医科大学附属病院・中央手術部・副看護師長 山内薫

京都府立医科大学附属病院・中央手術部・看護師 行燈風太、森本優子、
岩松咲希、藤井萌実、
牧之段有子、塚脇友之

京都府立医科大学医学部看護学科・講師 占部美恵

■お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学附属病院：代表番号 075-251-5890

研究責任者：手術室看護師 長谷川佳代